



2019年度事業報告書 **ボラみみ**

特定非営利活動法人ボラみみより情報局

2018年10月1日から2019年9月30日まで

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人ボラみみより情報局は、「理念・社会的役割」を達成するために、2019年度は「定款 第5条」の事業を実施した。

理念・社会的役割

「つなぎ」 ボランティアをしたい人と必要としている人々をつなぎます。

「ひろげ」 ボランティア・NPO活動への理解と参画をひろげます。

「きづく」 自らの問題解決に取り組む地域社会をきずきます。

定款 第5条

- (1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業
- (2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業
- (3) ボランティアに関する調査研究および公開事業
- (4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業
- (5) ボランティア活動の普及啓発事業
- (6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業
- (7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業
- (8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業
- (9) 環境の保全に関する支援、およびボランティアの育成事業
- (10) 保健、医療又は福祉に関する支援、およびボランティアの育成事業

2 重点項目

ボラみみより情報局は、下記の5つの項目を重点的事業と位置づけて実施した。

(1) 20周年に向けて、これまでの20年をふりかえり、次の20年を考える (28ページ参照)

2019年7月31日に創立20年を迎え、これまでの活動をふりかえり、次の20年をどのように活動していくかを話し合うため「これからの20年を考える会」を、2019年3月21日(木・祝)、5月19日(日)、9月28日(土)の計3回、開催した。

(2) 協働連携によるボランティア促進事業の展開 (14ページ参照)

ボランティア交流イベント開催運営業務を受託して、ボランティアを促進する14の組織と協働連携して、ボランティアマッチングイベント「ぼらマッチ! なごや」を、6月15日(土)に愛知学院大学名城公園キャンパスにて開催した。このほか、ボランティアコーディネーター研修、ボランティア体験活動などボランティア活動を促進する事業に取り組んだ。





(3) 協働連携による「なごやのボランティア史（仮称）」編纂事業（10 ページ参照）

この地域のボランティアの歴史的背景をまとめて、「なごやのボランティア史（仮称）」を編纂するため、ボランティア実践者、学識経験者、編集経験者、名古屋市社会福祉協議会職員、ボラみみスタッフの9名による編纂委員会を8回開催した。

(4) 協働連携による「物資寄贈事業（みみちゃんお届け便）」（23 ページ参照）

企業や市民活動団体などと協働連携することで、これまでは廃棄されてきた事務用品や学用品などを市民活動団体に寄贈することができた。148 品目、1,800 個の物資を 2019 年 6 月に 62 の市民活動団体（福祉施設や貧困に取り組んでいる団体など）へ寄贈した。

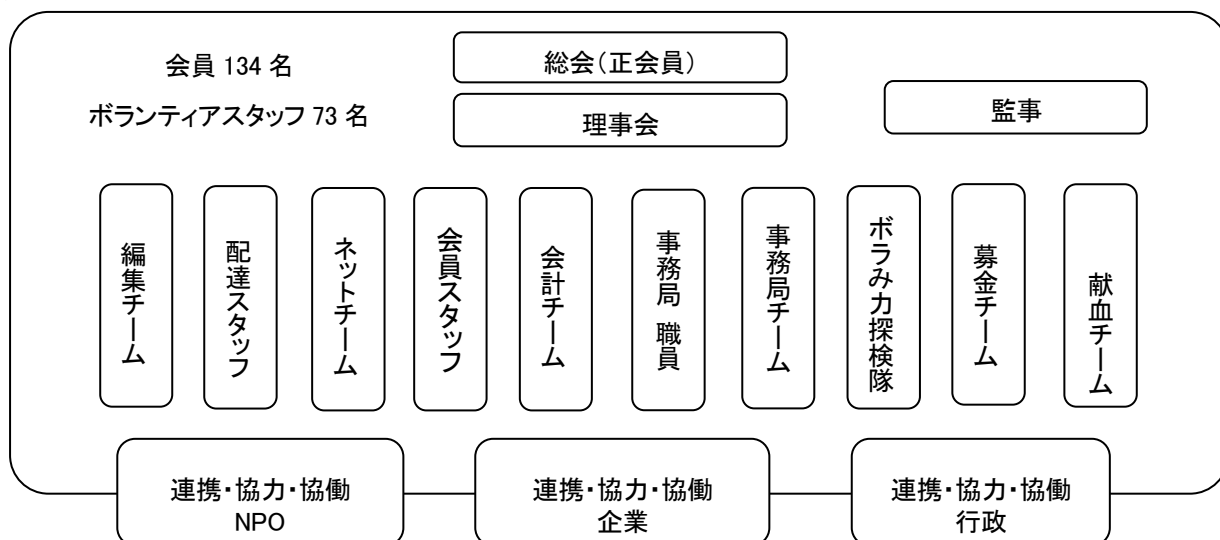
(5) キャンペーン企画による組織基盤の強化（24 ページ参照）

会員や寄付の募集など年間を通して月単位でキャンペーンに取り組んだ。

- 11 月「ボラみみの会員になろう！」キャンペーン
- 12 月「物資寄贈プログラム」寄付キャンペーン
- 3 月「ボランティア史」作成寄付キャンペーン
- 4 月「黄色いレシートに参加しよう！」キャンペーン
- 5 月 東海ろうきん「NPO 寄付システム」登録促進キャンペーン
- 6 月「みみラインにボランティア登録しよう！」キャンペーン
- 7 月「月刊ボラみみ」寄付キャンペーン
- 8 月「月刊ボラみみ配布先募集」キャンペーン、「募金箱設店舗募集」キャンペーン
- 9 月「みみラインにボランティア求人情報を投稿しよう！」キャンペーン

3 組織体制

事業を実行するにあたり、ボランティアスタッフが力を最大限に発揮できるよう、ボランティアの募集を行ったが、2019 年度のボランティアスタッフ数は 73 名で、昨年度の 77 名に比べて減少した。





4 チーム報告

大学生から 70 代までさまざまな年齢層のボランティアスタッフが活躍していることが、ボラみみの特徴である。『月刊 ボラみみ』の編集や発送・配達、ボランティアマッチングサイト「みみライン」の管理・運営など、会計事務やこの事業報告書の作成まで、どの活動もボランティアスタッフなしでは成り立たない。すべてのボランティアスタッフを紹介することはできないが、ボランティアスタッフの活躍をチームごとに紹介する。

(1) 編集チーム

ボラみみ情報誌に携わるようになって1年半。この間に2度、特集記事「ボラみみ隊が行く！」を執筆させていただきました。ボランティア団体様とアポイントメントを取り、実際の活動への参加や取材をしました。ボランティアの良さを再認識するとともに、多くの方にボランティアの良さを知ってもらいたいと思い、記事を作成しました。

また、月1回の編集会議では20周年記念号についての話し合いやボラみみアワードの選考などを行ってきました。(大久保さん)



アワードの投票
(2018.10月の編集会議にて)

今年度は2つの団体に取材に行き、特集記事を執筆させていただきました。取材へ行くたびに、代表の方やスタッフの方の想いに感動し、その活動の背景にある社会課題や解決すべき問題について考えさせられます。地域で活躍する団体の活動や想いを、少しでも多くの方に伝えられたらと思い、編集グループに参加しています。これからも、たくさんの方々の活動や想いを知り、たくさんの方々にそれをお伝えできればと思っています。(小野地さん)



新連載に向けて「SDGs勉強会」を開きました(2018.9月)

今年度より、毎月『ボラみみ』と合冊で名古屋市が発行している『なごや市民活動通信』の担当となりました。イベントの取材をして記事を作成したり、各情報ページの編集等をする他、毎月ボラみみの編集会議へも参加させていただいています。様々な意見が飛び交い、より楽しく有意義な誌面づくりをめざす編集委員の皆さんとの会議は、刺激的で、とても勉強になります。

(細井さん)





編集チームの一員になってからというもの、「ボランティア」という言葉が気になって、いつもアンテナを張っています。こんなボランティアがあるんだ！と驚くことも多々あり。取材・執筆を通してボランティア団体の熱いマンパワーを伝えています。(山本さん)

ボラみみの他のボランティアスタッフが執筆した、『ボラみみ』の掲載記事の校正をいくつか担当させていただきました。ボランティア体験記や企業のCSR活動など、毎回、校正をしながら様々な活動、様々な情報に触れることができ、私自身が良い刺激を受けています。「情報を知ること」によって興味生まれ、意識や行動が変わるきっかけになるはず。そんな気持ちを忘れず、今後も読みたくなる誌面づくりに貢献していきたいです。(牧さん)

『ボラみみ』7月号を「20周年記念号」としてカラーで発行することができました。また、カラーでの発行費用の足しにするため、編集チーム発案で20周年記念グッズ(ハンドタオル)を作り、販売しました。おかげさまで、200セット(2枚組1セット1000円)完売しました！20周年記念号の発行にあたり、ボラみみは本当にたくさんの方から応援、ご協力をいただいているということに改めて感じました。心より感謝しています。(事務局)



(2) 配達スタッフ

配達先の方が「今月の表紙はどこかな？」とつぶやかれるのを耳にしたことがあります。私も新しい『ボラみみ』を受け取って、表紙を見るのが楽しみです。パッと見てすぐにわかる市、うーんと悩んで翌月号の説明を待つ時、何とかどこかはわかったけれどこれも特産だったのね、と新しい発見をする時、いろいろです。可愛くてワクワクする表紙が配達の励みになります。(森崎さん)

大学と専門学校にお届けしています。昼休みや夕方、長期休暇など学校事務が休みの時は気をつけています。(林さん)

毎月月末頃、1日~2日かけて15箇所に配達をしています。4年程担当させていただいており、配達先は、学校、福祉事務所、商業施設等々様々です。皆さんが「有難うございます」「ご苦労様」と声をかけて下さり、お渡しすると直ぐ配架して下さる方もいらして有難いです。また、前月お届けしたボラみみが無くなっている配架場所を見る時は大変嬉しくやりがいを感じます。一人でも多くの方が手にとって下さることを祈っています。(横田さん)





(3) ネットチーム

第4土曜夜にホームページについて話し合います。メンバーは現在4人。今年はgoogle検索で、より上位にする作業をしましたが、うまくいきませんでした。話し合いはとても楽しい雰囲気です。スマホにも対応したいのでwebデザインのできる方やseo対策に強い方にもぜひ参加してほしいと思っています。

(岸本さん)



(4) 会計チーム

現在は会計チームには7名のメンバーがいます。日ごろ全員が揃うということは殆どありませんが、時には作業の進み具合をSMSで連絡し合うなどして意思の疎通を図るようにしています。その作業は分業化されていて、それぞれのメンバーが日々の経費伝票を種別項目別に会計ソフトに入力、まとめ、月別収支表の作成、会計処理から決算書の作成を行っています。ボラみみの経費の健全性を日々チェックする裏方として頑張っています。(小倉さん)

(5) 会員スタッフ

会員の方に年4回お届けしているニュースレター「みみ通信」の校正を引き続き担当させていただきました。ボラみみ全体や各チームの活動報告、またボランティアスタッフ個人のコラムやインタビューもあって、ボラみみを身近に感じられる媒体だと感じています。ボラみみを「会員」として応援して下さる方が増えるよう、今後もボラみみの想いを運ぶお手伝いをしていきたいです。(牧さん)

ニュースレター「みみ通信」のレイアウトやイラストを担当しています。皆さん忙しいなかで「みみ通信」の編集作業をされているので、チームのみんなに迷惑をかけないように、修正などのやりとりは最少回数で行うことを心がけています。読みやすくレイアウトすることはもちろんですが、かわいいイラストを添えて、ボラみみでの出来事を楽しく皆さんにお伝えしたいと思っています。

そして、最後のページの「4 コマ みみ劇場」でほっこりした気持ちになってもらえるとうれしいです。これからもお楽しみに!(富田さん)





会員事務について

- ・会員登録情報（新規・更新）をデータベースに入力
- ・月1回、会員あてに月刊「ボラみみ」等を発送するための下準備
（あて名ラベル・更新案内・会員登録お礼状作成など）
- ・3か月に1回、季刊「みみ通信」の印刷・紙折作業などの仕事を担当しています。
ボラみみと会員のみなさんとの関係がなるべく円滑に進むように心がけていますが、新しい会員を増やすための試みも少し考えていければと思っています。（島崎さん）

(6) 事務局チーム

主な活動は、「みみライン」に掲載するボランティア、イベント情報のチェックです。いろいろな団体から届いた情報の活動内容などを確認し、掲載できるかどうか、情報に不足はないかをチェックします。お馴染みの団体もあれば、「こんな活動があるんだ！」と初めて知る団体もあり、チェックをすることよりも内容に興味を持ってしまうこともよくあります。（井本さん）

毎月上旬に『ボラみみ』翌月号の原稿（20件程度）の校正作業（一次・二次）を行っています。読んで下さる方に内容が正確に伝わるように、また、一人でも多くの方がボランティア活動に参加して下さることを願って作業をしています。初登場の団体もあり、ボランティア団体についての知識や関心が深まり勉強になります。

毎月11日は黄色いレシートの日で、イオンのモゾワンダーシティ店とマックスバリュ太閤店で、それぞれ90分ずつ店頭キャンペーンを行っています。毎回多くの方が協力して下さり、たいへん嬉しいです。「おつかれさま」「よろしくお願いします」と声をかけて下さる方もあり、疲れが吹き飛びます。レシートを持ってきてくれた子どもさんには、お礼にボラみみのパンフレットを渡します。とても嬉しそうな顔をして親御さんの元に駆けていく姿はとても癒されますね。（横田さん）

(7) ボラみみ力探検隊

残念ながらほとんど活動できなかったというのが率直なところです。ボラみみという組織を考えてみる、あるいは活性化させるというのが探検隊の目的でした。あんまり目的にこだわるよりも、もうちょっと柔軟に構えてみたほうがいいかもしれませんね。目的そのものもボラみみの存在も結構深いと思うのですが、それをうまく演出してみる事が今後の課題かなと考えています。（宇都宮さん）

(8) 募金チーム

『月刊ボラみみ』は毎月無料で発行しています。発行には毎月50万円ほどかかっており、その費用を捻出するための取り組みのひとつとして募金チームは結成されました。しかし、昨年度に引き続き「チーム」とは呼べない状況が続いています。当初、募金の回収は年に2回予定していましたが、今年度は、スタッフの協力を得て、何とか1回できたという状況です。一人でも多くの方に、少しの時間でも、参加していただくとありがたいです。（事務局・佐原）





(9) 献血チーム

偶数月の献血推進活動は早くも今年で丸8年になります。活動開始当初をととても懐かしく感じますが、現在は1年を通して参加希望者はかなり少なくなっています。それでも参加された方には、献血推進活動の魅力を知ってもらい、楽しんでいただいています。

最近の参加傾向として10月、4月、6月は少なく、12月、2月、8月によく集まる傾向にあります。これからの1年は推進活動メンバーの募集に力を入れ、将来の担い手を探していきたいと思えます。(大森さん)



5 事業の実施に関する事項

理念、社会的役割を実現するため、以下の事業を実施した。

(1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業（定款第5条第1号）

①ボランティア情報誌『月刊 ボラみみ』編集・発行・配布（自主事業）

②なごや市民活動通信を合冊として編集・発行・配布（委託事業）

事業名：市民活動情報誌編集・合冊発行業務委託

対象：ボランティアをしたい読者

実施内容：ボランティア団体および個人からボランティア募集情報や市民活動に関するイベント情報を収集し、無料の情報誌を毎月10,000部発行した。

（仕様：B5版 モノクロ）16～20ページ（ボラみみ）+4ページ（なごや市民活動通信）。7月号は20周年記念号として、カラーで発行した。

時期：年11回 毎月1日に発行（1月・2月は合併号）

2018年10月1日～2019年9月30日

対象地域：名古屋市を中心とした愛知県下のスーパーや学校、公共機関など、730箇所に配布（前年度実績750箇所）

担当：編集チーム、事務局チーム、配達ボランティア、会員担当ボランティア、みみラインシステム担当、事務局

評価：ボランティア情報220件（前年度実績220件）

ボランティア募集情報は「毎月20件」を目安に、毎号さまざまな活動分野の情報を掲載できるよう工夫した。誌面内容では、特集をはじめとする取材記事の充実だけではなく、さまざまな活動の様子を活動者自身の目線で伝える連載記事を充実させた。また、誌面の連載と連動した勉強会も実施した。





号数	特集・連載記事内容	ボランティア情報
10月号	特集「食品ロスの解消、食の支援が必要な人のために もったいない精神でいこう！」フードバンクかすがい 特集「ボラみ隊が行く！フィリピンのこどもたちの生活向上を目指すボランティア」認定NPO法人 アイキャン 連載「Go！Go！ボランティア」第23回『大野恵さんが行く！』	20件
11月号	特集「ようこそ！ボラカフェへ 学生編」 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」第5回『ハルビンの冬を乗り切れ』 連載「第50回 企業の社会貢献活動の現場から」株式会社ナゴヤキャッスル 企画「新団体紹介」特定非営利活動法人 NAGOYA CULTURE & SPORTS CLUB	20件
12月号	特集「夜の炊き出し活動がつながり、支援の輪」南山大学炊き出しサークル AVANTGARDE、特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター 特集「自立に向けた当事者自身の活動をボランティアが支える」のわみ相談所 連載「Go！Go！ボランティア」第24回『はまちゃんが行く！』	20件
1・2月 合併号	合併号特別企画「決定！！第5回 ボラみみアワード」 連載「第51回 企業の社会貢献活動の現場から」リンナイ株式会社 企画「新団体紹介」空色のつどい 特集「1万本のキャンドルに想いをこめて 被災地を『応援』」 特定非営利活動法人 被災者応援愛知ボランティアセンター 不定期連載「NPO ではたらく！」第7回 白川 陽一さん	22件
3月号	不定期連載 No.7 届けたい、今 「東日本大震災から8年 ～今、私たちにできること～」ういくる 「大好きな大島の皆さんと一緒に」名城大学ボランティア協議会 災害復興部門 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」第6回 『耳も目も、お腹もいっぱいになるお正月』 連載「第52回 企業の社会貢献活動の現場から」名鉄観光サービス株式会社 企画「新団体紹介」特定非営利活動法人 ながいく	20件
4月号	特集「春 ちょボラから、始めよう！」 特集「ボランティア入門」 連載「Go！Go！ボランティア」第25回『かいさんが行く！』	20件
5月号	特集「社会を少しずつ変えていく、『好き』が原動力のクリエイティブ」 特定非営利活動法人 ひょうたんカフェ 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」第7回『焦らぬ心と計画心』 連載「第53回 企業の社会貢献活動の現場から」名鉄協商株式会社 企画「新団体紹介」一般社団法人 Nancy	20件
6月号	特集「つなげよまい、未来へ つながろまい なかまの輪」 第42回きょうされん全国大会inあいち事務局 特集「ボラみ隊が行く！誰もが居場所を持てる、交流が盛んな地域を目指して」ソ ーネおおぞね 連載「Go！Go！ボランティア」第26回『ケルベロスが行く！』	18件
7月号	20周年特集①「ボラみみより情報局 20年のあゆみ」 20周年特集②「ボラみみ 20周年応援メッセージ」 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」第8回『北と南、東と西に驚かされて』	18件





8月号	特集「岐阜を日本一の『共育都市』へ 『ぎふマープルタウン』の取り組み」 一般社団法人 Nancy 連載「Go! Go! ボランティア」第27回 『turuが行く!』 連載「第53回 企業の社会貢献活動の現場から」株式会社ビジョンクリエイツ 企画「新団体紹介」多文化共生サポート Adagio	20件
9月号	特集「子どもたちの豊かな成長のために心を届ける」 特定非営利活動法人 The Music Restaurant 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」第9回 『旅行先は国際ボランティアの原点へ』	22件

(2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業（定款第5条第2号）

① 「ボラみみ.com」の運営（自主事業）

対 象：愛知県、岐阜県、三重県のボランティア・市民活動に関心のある市民

実施内容：「ボラみみ.com」が Google 検索で、ボランティアやアルバイトの求人サイト「activo」よりも上位に表示できるように、SEO 対策の研究・分析を行った。分析結論として「ボラみみ.com」のサイトでは、「activo」に勝てないため、対抗するには、「みみライン」の対策が必要であるとの分析結果が出された。活動や事業の報告、過去の活動実績の紹介などの更新はあまり進まなかった。

時 期：随時

担 当：ネットチーム、みみラインシステム担当、編集チーム、事務局

評 価：SEO 対策について研究・分析を行うことで、「ボラみみ.com」のサイトの役割は、団体の活動や事業を広報すると再認識することができた。

② 「みみライン」の運営（自主事業）

対 象：愛知県、岐阜県、三重県のボランティアに関心のある市民

実施内容：Web サイトにおいて収集したボランティア情報・イベント情報の内容を確認のうえ、公開する。ホームページの情報の管理・更新を行う。また、個人ボランティア登録により、個別にボランティア・イベント情報を配信する。

時 期：随時

担 当：みみラインシステム担当ボランティア、事務局チーム、事務局

評 価：情報アクセス年間 251,519 件（前年度実績 162,493 件）

個人登録 延べ 4,056 件（昨年 3,993 件）

目標としていたアクセス件数の 200,000 件を超えることができた。

③ 「みみライン」協働運営のためのシステム提供（自主事業）

対 象：名古屋市と 16 区の社会福祉協議会、名古屋市子育て支援課

実施内容：「みみライン」システムの提供

時 期：2018 年 4 月～2019 年 3 月、2019 年 4 月～2020 年 3 月

担 当：みみラインシステム担当、事務局

評 価：18 組織に対しシステムを提供したが、目標の 20 組織には増えなかった。





(3) ボランティアに関する調査研究および公開事業（定款第5条第3号）

①なごやのボランティア史（仮称）編纂事業(自主事業)【重点項目(3)】

対 象：名古屋を中心として地域で活動しているボランティア

実施内容：団体の取材・執筆し終わった原稿の全体的な統一を図るため原稿を編集した。資料編に掲載する資料をとりまとめ、説明文章を執筆した。また、編纂委員会は8回開催し、会議の記録を作成した。

時 期：2018年10月～2019年4月

担 当：編纂委員会（事務局、名古屋市社会福祉協議会、学識経験者、編集経験者、ボランティア実践者）

評 価：2019年3月までの完成予定であったが、執筆や資料編のとりまとめが遅れた。2019年中に発行できるよう進めているが、出版社による校正や取材団体への校正確認の作業が残っているため、出版日程はまだ確定していない。また、助成金事業として実施する計画であったが、助成金を取れていないため、財政を圧迫している。

②アンケート調査および、アクセス解析（自主事業）

対 象：ボランティア情報掲載団体／ボラみみ読者

実施内容：①「月刊 ボラみみ」掲載団体へボランティア参加状況のアンケート調査・分析

②「みみライン」のアクセス数や利用状況の調査・分析

③サイトのアンケートフォームによる調査・分析

時 期：①毎月(年11回)、 ②毎日、毎週、毎月、 ③随時

担 当：事務局チーム、みみラインシステム担当、事務局

アンケートの回答状況

- ・アンケート回答総数 292件 (回答率：約41%)
- ・問合わせ
 - 問合わせあり 171件 (合計452名)
 - 問合わせなし 84件
 - わからない 37件
- ・参加
 - 参加あり 129件 (合計人数545名)
 - 参加なし 108件
 - わからない 55件

<内訳>

●web（みみライン）にのみ掲載した情報のアンケートによる参加状況（イベント含む）

- ・アンケート回答件数 163件
- ・問合わせ
 - 問合わせあり 70件 (合計127名)
 - 問合わせなし 63件
 - わからない 30件
- ・参加
 - 参加あり 44件 (合計122名)
 - 参加なし 78件
 - わからない 41件





●誌面掲載情報のボランティア参加状況（2018年8月号～2019年7月号）

※誌面掲載団体へのアンケートは、掲載から約1ヶ月後にFAXやメールで調査している。ここでは、2018年8月号（2018年9月中に回答があったものも含まれる）から2019年7月号（2019年9月中に回答があったもの）までを集計した。また、アンケート回答後に参加があった場合は、統計に反映されない。

- ・アンケート回答件数 129件（7月号の回答のうち5件は2018年9月に回答あり）
- ・アンケート回収率 59.2%（前年度56.3%）
- ・問合わせ
 - 問合わせあり 101件（合計325名）
 - 問合わせなし 21件
 - わからない 7件
- ・参加
 - 参加あり 85件（合計423名）
 - 参加なし 30件
 - わからない 14件

掲載号	2018					2019						総数
	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	1・2月合併号	3月号	4月号	5月号	6月号	7月号	
掲載情報数	20	20	20	20	20	22	20	20	20	18	18	218
アンケート回答数	11	10	17	12	9	16	14	8	12	10	10	129
「問合わせあり」と答えた団体	7	7	15	11	6	14	10	7	9	7	8	101
問合わせ人数	23	33	45	26	14	40	36	28	30	16	34	325
誌面から	6	2	16	4	4	7	18	10	10	1	8	86
ウェブから	3	9	13	6	7	8	9	10	5	5	24	99
不明	14	2	16	16	3	25	9	8	17	10	2	122
「参加あり」と答えた団体	6	6	10	11	6	10	9	7	9	4	7	85
参加人数	14	154	30	20	15	44	28	22	32	19	45	423

評価：「みみライン」のみの掲載よりも『ボラみみ』誌面に掲載した情報への問合わせ人数と参加者数が多いことが、アンケート結果から分かる。「ボラみみ以外の参加のきっかけ」を尋ねると、自団体のホームページが一番多く、次の多い回答は「なし」という回答であった。「また掲載したいか」という質問には、約99%が「また掲載したい」と答え、「ボラみみに情報掲載することで、問合わせが増える」「関心層の目に触れる確率が高い」という意見をいただいている。こうしたマッチング率や掲載の反響をPRし、より多くの団体に「みみライン」を活用してもらえよう呼びかけていきたい。そのためにも、アンケートの回答率を上げ、参加状況などの把握に努めたい。チラシ、SNSや他のボランティアサイト（activoなど）も複数の方法で募集をかけている団体も増えてきているため、今後の対策が必要である。

●Web掲載状況（2018年10月1日～2019年9月30日）

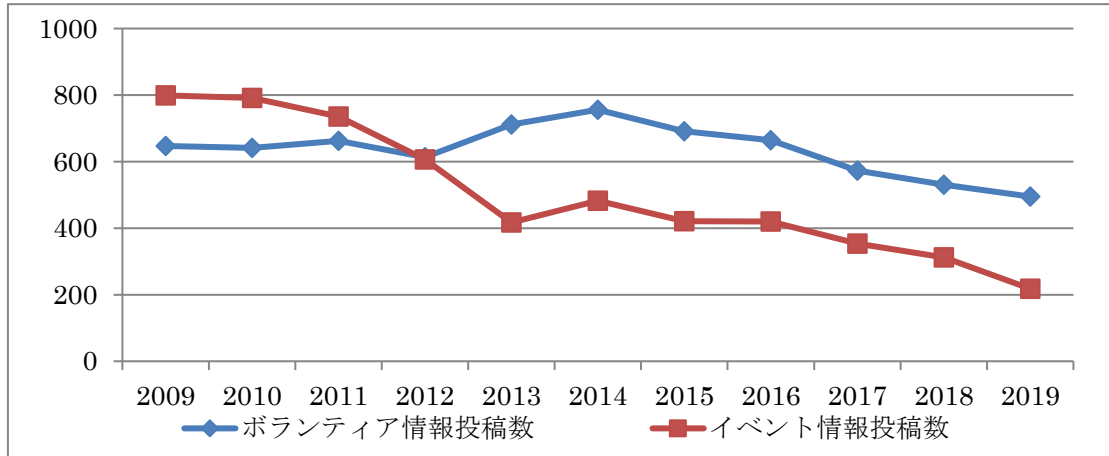
- ボランティア情報投稿数 495件／年
- ボランティア情報アクセス数 172,987件／年
- イベント情報投稿数 218件／年
- イベント情報アクセス数 78,532件／年





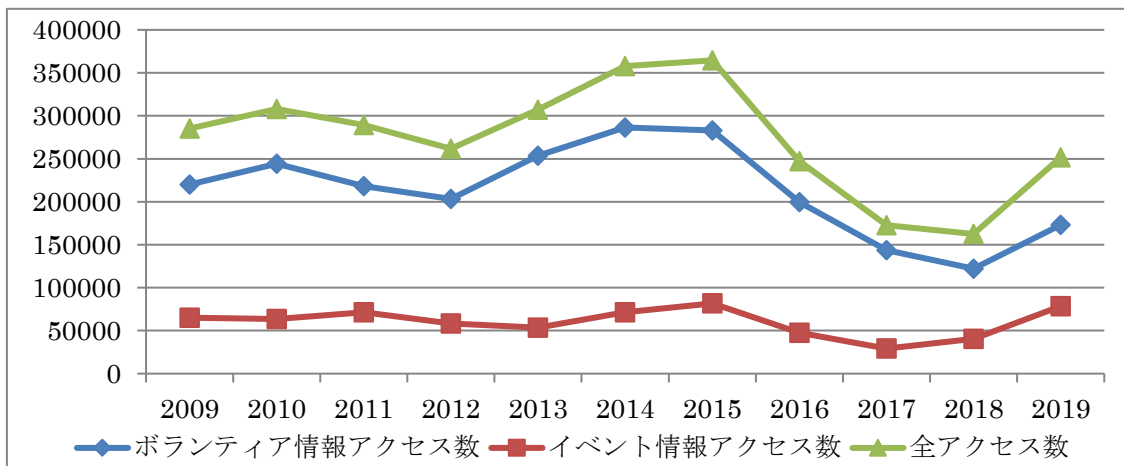
●情報投稿件数の推移

情報投稿件数の推移ボランティア情報の投稿件数は、2014年をピークに減少してきた。イベント情報については2009年以降減少している。



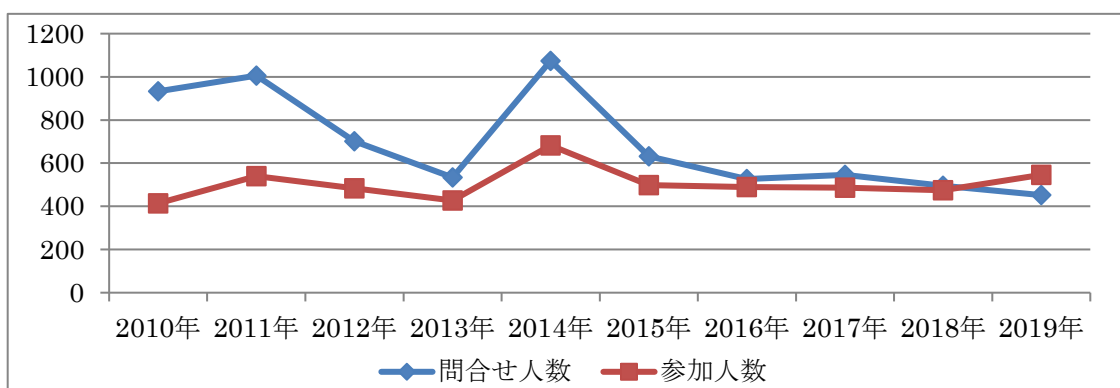
●みみラインへのアクセス数の推移

ボランティア情報とイベント情報へのアクセスの件数は、2015年をピークに急激に減少してきたが、2019年度は増加した。減少や増加の原因については、分析ができていない。



●ボランティア問合せ人数と参加者数の推移

2015年からボランティア情報の投稿件数やボランティア情報へのアクセス件数は減少しているものの、問い合わせ件数やボランティアの参加人数に大きな変動はない。





(4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業（定款第5条第4号）

① ボランティア・イベント情報の提供（自主事業）

対 象：企業の社会貢献担当部署

実施内容：広くボランティア・イベント情報を提供していくことを目的に、収集したボランティア活動・NPO 活動に関する情報を、トヨタグループ9社で運営するスマイルゆうネットへ情報を提供した。また、スマイルゆうネットに投稿される情報の管理業務を行った。2018年10月15日にスマイルゆうネットの担当者会議に出席し、情報管理の状況について説明した。2019年5月20日には、スマイルゆうネットシステム更新に関わる打合せに参加した。

時 期：2018年10月～2019年3月、2019年4月～2019年9月

担 当：事務局

評 価：スマイルゆうネットでは、1,676件のボランティアやイベント情報を管理し、ボラみみからは144件のボランティア情報を提供した。2018年10月～2019年9月の期間で88名の申し込みがあったが、前年度の同期間の138名から減少した。

期間	企業名	内容
2018年10月～2019年9月	トヨタグループ9社	スマイルゆうネットへの情報提供及び、ボランティア情報・イベント情報の管理

(5) ボランティア活動の普及啓発事業（定款第5条第5号）

① 講師派遣（自主事業）

対 象：愛知県、岐阜県、三重県民

実施内容：ボランティア・NPO活動の普及啓発を目的に、ボランティア市民活動に関する講師の派遣を実施した。

時 期：2018年10月～2019年9月

担 当：事務局

派遣日	講座テーマ	派遣先
2018年11月6日(火)	地域支えあい活動 人材養成講座 ステップアップ編「広報力を高める」	名古屋市社会福祉協議会
11月17日(土)	つなぎの学び舎・実践編「つながりたい！ 相手へのアプローチの仕方を考える」	ボランタリーネイバーズ
12月14日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (岡崎)	愛知県社会福祉協議会
12月20日(木)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (名古屋B)	愛知県社会福祉協議会
2019年1月11日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (名古屋A)	愛知県社会福祉協議会





1月19日(土)	市民活動人材育成事業「広報力向上講座」	津島市
2月15日(金)	スキルアップ講座「心に響く人を動かす広報」	刈谷市
2月17日(日)	「ボランティア主体の組織作りを考える」	人財ポケット
5月17日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」(一宮)	愛知県社会福祉協議会
7月11日(木)	ボランティアコーディネーター研修「情報の収集・整理・提供」	愛知県社会福祉協議会
7月16日(火)	NPO派遣研修「NPO(市民活動団体)とボランティア」	名古屋市
7月23日(火)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」(名古屋A)	愛知県社会福祉協議会
8月25日(日)	次世代のNGOを育てる、コミュニティカレッジ(Nたま)「マネジメント能力を高める」	名古屋NGOセンター
9月28日(土)	2019年度知多市協働のまちづくり講座「広報・情報発信研修 ～誰に何をどう伝えるか～」	地域福祉サポートちた

評価：講師派遣回数は14回で、前年度の実績25回から減少した。

②ボランティアマッチングイベント(委託事業)【重点項目(2)】

事業名：ボランティア交流イベント開催運営事務委託

テーマ：ボランティア活動の促進

対象：名古屋市内在住・在学・在勤の学生・社会人(働いている人、主婦・主夫、退職者など)

実施内容：ボランティアのマッチングイベント「ぼらマッチ!なごや」を2019年6月15日(土)に愛知学院大学 名城公園キャンパスにて実施した。ボランティアをしたい人とボランティアを求める団体が同じテーブルに集い、交流する「交流タイム」をメインに、「ボランティア体験コーナー」や「ぼらカフェ」を企画した。

時期：2018年10月～2019年3月

2019年4月～2019年8月

【協働会議参加団体】 愛知大学 ボランティアセンター、愛知学院大学 地域連携センター、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター、株式会社デンソー、同朋大学DVNみらい、特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、名古屋学院大学 社会連携センター、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、名古屋市立大学 学生課、日本福祉大学 地域連携推進室、ボラみみより情報局、名城大学 ボランティア協議会



交流テーブル



ボッチャ体験





担 当：事務局

評 価：2019年度は、参加団体・施設、運営スタッフ含め全体で247名の参加があった。トータルの来場者人数は前回より減ったが、参加者アンケートでは40名が「参加したい団体が見つかった」と回答している。しかし、イベント開催1か月後に、出展団体・施設に対して、活動への参加の有無を尋ねるアンケートを取ったところ参加者は3名で、昨年度に比較して減少し、企画内容に大きな課題を残した。この課題を踏まえたうえで「ボランティアのマッチング数」を増やすためにできることを考えていきたい。

③協働会議の実施（委託事業）

事 業 名：協働コーディネーター等業務委託

テ ー マ：ボランティア活動の促進

対 象：名古屋市内でボランティア活動の促進に取り組むさまざまな団体
(行政、NPO、大学、企業など)

実施内容：2018年12月4日（火）に名古屋市社会福祉協議会多目的スペースにて、「ボランティア活動の促進」をテーマとした協働会議を開催した。また、2019年度後半も協働会議を実施する予定。

時 期：2018年10月～2019年3月、2019年10月～2020年3月

【協議会議参加団体】（2018年12月4日）20名：愛知大学国際協力団体SEED、愛知大学ボランティアセンター、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター、株式会社デンソー、同朋ボランティアネットワーク「みらい」、名城大学ボランティア協議会、名古屋NGOセンター、名古屋市観光文化交流局国際交流課、名古屋市子ども青少年局青少年家庭課、名古屋市社会福祉協議会、名古屋市市民活動推進センター、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、ボラみみより情報局

評 価：2018年の会議では、「みんなでぼらトーーーク～私とボランティア」と題し、グループに分かれて、「ボランティアをやってよかったこと」や「もやもやすること」などのテーマで自由に話し合った。参加者からは、「様々な人の意見が聞けて良かった」「ボランティアって？と改めて考えさせられた」などの感想をいただくことができた。2019年の会議は開催前のため、次年度に評価報告する。

④ボランティア・市民活動運営相談（委託事業・自主事業）

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズと共同事業体をつくり、名古屋市の「NPOアドバイザー事業」の委託を受けて、団体の立ち上げ・NPO法人設立・運営などにおける一般相談業務、セミナーを実施している。

事 業 名：NPOアドバイザー事業業務委託

実施場所：名古屋市市民活動推進センター

対 象：名古屋市で活動するNPO、企業、行政、個人





担 当：アドバイザー、事務局

協働団体：特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

時 期：2018年5月～2019年3月、2019年5月～2020年3月

・相談実績

実施月	実施日	コマ数	相談数
2018年10月	4日(木)、9日(火)、16日(火)、27日(土)、31日(水)	16コマ	14件
11月	16日(金)、27日(火)	4コマ	3件
12月	4日(火)、7日(金)、15日(土)、21日(金)	16コマ	11件
2019年1月	17日(木)、25日(金)、29日(火)	10コマ	4件
2月	6日(水)、14日(木)、20日(水)、27日(水)	12コマ	8件
3月	6日(水)、14日(木)、22日(金)	10コマ	6件
5月	11日(土)、17日(金)、23日(木)、30日(木)	14コマ	11件
6月	9日(日)、12日(水)、14日(金)、19日(水)、27日(木)	14コマ	7件
7月	5日(水)、11日(木)、19日(金)、25日(木)、30日(火)	14コマ	8件
8月	9日(金)、23日(金)、28日(水)	8コマ	7件
9月	5日(木)、10日(火)、17日(火)、18日(水)、27日(金)	16コマ	12件
合計		134コマ	91件

また、2019年1月8日(火)と8月20日(火)にアドバイザー研究会を開催し、相談業務について情報交換とふりかえりを行った。

・講座実績

実施日	テーマ	参加者数
2018年11月16日(金)	NPO法人が知っておきたい税のしくみ	16名
2019年1月25日(金)	雇用契約書にみる労務のポイント	10名
2月14日(木)	NPO法人の事業年度終了後のタスクと段取り	17名
3月22日(金)	NPO法人の理事・監事の役割	12名
6月12日(水)	はじめてのNPO運営(ヒト・モノ・カネの活かし方)	8名
6月27日(木)	一緒に活動する仲間づくり「そんなことまでボラさんに任せていいんですか!?	7名
7月11日(木)	NPO法人運営(NPO法・会計・税務・労務)	11名
7月19日(金)	ファンドレイジングってなに? NPO活動資金づくりの考え方	11名
8月23日(金)	いまさら聞けないNPOの広報	12名
8月28日(水)	NPO法人が知っておきたい消費税のしくみ	13名





評価：2018年5月～2019年3月の稼働率（当日キャンセル除く）は77%であったが、相談者に実施したアンケート結果より「相談内容の満足度」については、「とても満足」と「満足」をあわせて100%が肯定的な回答をし、高い満足度が確認できた。また各セミナー参加者の講座内容に対しての満足度も、「とても満足」と「満足」をあわせた回答が90.2%となり、目標とする85%を上回った。

2019年4月以降は、事業期間中のため2020年度にて評価報告する。

・アドバイザー業務

実施場所：一宮市市民活動支援センター

対象：一宮市で活動するNPO、企業、行政、個人

担当：事務局

実施月	実施日時
2018年10月	6日(土)15:00～20:00
11月	10日(土)15:00～20:00
12月	1日(土)15:00～20:00
2019年1月	12日(土)15:00～20:00
2月	2日(土)15:00～20:00
3月	9日(土)15:00～20:00
4月	13日(土)15:00～20:00
5月	4日(土)10:00～16:00
6月	1日(土)15:00～20:00
7月	6日(土)15:00～20:00
8月	3日(土)15:00～20:00、31日(土)15:00～20:00

評価：予約による相談は少ないものの、1件当たりの相談時間を長く取り丁寧に対応ができた。

・連携コーディネーター

派遣場所：学生共同活動拠点N-base（エヌ・ベース）

対象：学生

担当：事務局

実施月	実施日時
2018年11月	14日(水)18:00～20:00
2019年1月	10日(木)18:00～20:00
2月	20日(水)18:00～20:00
4月	17日(水)18:00～20:00
6月	17日(月)18:00～20:00
8月	29日(木)18:00～20:00





評 価：学生のほとんどが、所属する団体のミーティングに参加するために来所する。「ボランティアについて話したい／相談したい」という目的で来所する学生は、今のところいない。イベント内容・広報の方法への関心が高いと感じる。

- ・名古屋市まちづくりアドバイザー
依頼がないため実施しなかった。

⑤名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム（自主事業）

対 象：名古屋市で活動する市民活動団体

実施内容：名古屋市と認定 NPO 法人イーパーツ、ボラみみより情報局との協働により、名古屋市内で市民活動を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が思うように進まない団体を対象にリユースパソコンを提供する事業を実施した。また、関連事業として「伝わるチラシ！コンテスト」を開催した。

時 期：2018 年 10 月～2019 年 2 月（第 7 回）、2019 年 9 月～2020 年 2 月（第 8 回）

担 当：事務局

評 価：第 7 回リユース PC 寄贈プログラムでは、31 団体からパソコン 56 台とモニター 6 台の応募があり、選考の結果、28 団体にリユースパソコン 40 台とモニター 6 台を提供することができた。

2018 年 10 月の公募説明会は、「伝わるチラシ！コンテスト」の最終投票会を併催し、デザイナーによるミニ講座も開催した。また、2 月の寄贈式では、情報セキュリティに関する注意喚起や著作権に関するミニ講座も実施し、パソコンを安全に有効活用してもらい、情報管理の意識を高めてもらうよう働きかけることができた。

第 8 回は事業期間中のため次年度に評価報告する。

⑥イベントへのブース出展等（自主事業）

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：企業や大学などが主催するイベントへブース出展し、ボラみみの広報、ボランティア相談、ボラみみのグッズ販売を実施した。

担 当：ボラみみ探検隊、事務局チーム、インターン、事務局

参加日	イベント名	主催	場所
2018 年 10 月 11 日(木)	黄色いレシートキャン ペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
11 月 10 日(土)	ワールド・コラボ・フェ スタ 2018	ワールド・コラボ・フェ スタ実行委員会	オアシス 21 銀河の広場
11 月 11 日(日)	ファーストキフ ログ in 名城公園	ファーストキフログ実 行委員会	名城公園





11月11日(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
12月9日(日)	愛知淑徳大学 CCC コラボメッセ	愛知淑徳大学 CCC	愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス
12月11日(火)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
12月15日(土)	ファーストキフ RUN 2018	ファーストキフ RUN 実行委員会	庄内緑地公園
2019年1月11日(金)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
1月20日(日)	ファーストキフ・ファミリーサーカス	ファーストキフ・ファミリーサーカス実行委員会	名古屋市中小企業振興会館 (吹上ホール)
2月11日(月・祝)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
2月23日(土)	ファーストキフ映画祭	名古屋市	ナディアパーク デザインセンタービル デザインホール 他
4月10日(水)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
4月11日(木)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
5月11日(土)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
6月11日(火)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
7月11日(木)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
8月11日(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
9月11日(水)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) / マックスバリュート闇店
9月22日(日)	デンソーグループ ハートフルまつり	(株)デンソー	デンソー本社

評価：実施回数 25 回（前年度実績 27 回）

黄色いレシートキャンペーンは事務局チームを中心に、その他のイベントはチーム関係なくスタッフの参加があり、PR 活動ができた。毎月の黄色いレシートキャンペーンでは、ボランティアスタッフとインターンの協力を得て、複数の店舗で PR に参加することができている。NPO がブースを出せるイベントが減ってきているが、できるだけ参加し、知名度アップにつなげることができた。

⑦インターン受け入れ（自主事業）

対象：15 名（前年度実績 13 名）行政・大学等からの受け入れを実施

実施内容：インターンには、愛知県内の団体情報をデータベースに保存する作業のほか、『ボラみみ』の編集や発送・配達、イベントでの PR 活動などを体験してもらった。また、他





団体と協働して実施している会議やプログラムにも、できるかぎり参加してもらった。

担 当：事務局

名称	期間	受入元	人数
名古屋市職員研修「NPO 派遣研修」	2018 年 10 月	名古屋市	2 名
平成 30 年度 採用 2 年目現場体験研修	2018 年 10 月～11 月	愛知県	5 名
インターンシップ研修	2019 年 2 月～3 月	愛知淑徳大学	1 名
令和元年度 採用 2 年目現場体験研修	2019 年 7 月～9 月	愛知県	5 名
インターンシップ研修	2019 年 8 月～9 月	愛知淑徳大学	2 名

評 価：愛知県職員の振り返りシートで以下のような感想があり、受入れに意義があった。

- ・今回の現場体験研修を通して、NPO法人やボランティア等、多様な価値観を持つ人々と接することで、社会に奉仕したい・貢献したいと強く思う個人・団体が数多く存在することを実感した。愛知県内だけでも、約8,000から10,000のボランティア団体、また、約2,000のNPO法人が存在することを知り、それだけ様々な社会的ニーズが存在するのだろうと感じた。そのような個人・団体をつなげようと努力するボラみみより情報局の理念に強く共感し、短い期間ではあるが、一緒に仕事できたことは自分にとって非常に貴重な体験となり、良い勉強となった。社会をより良いものにしたと考える人々の期待を裏切ることがないように、公務員として、今後も愛知県の発展のために尽力していきたいと強く感じた。
- ・研修先は学生時代から知っている団体だったため、リラックスして研修に参加できた。研修先の事務をメインとした業務は普段している業務とまったく異なるものだったが、あたたかく迎えられ質問もしやすい雰囲気だったので、初めての場で緊張しがちな自分でも、実力が発揮できたと感じる。県職員としてボラみみより情報局へ派遣されたことの意味は、多くのボランティア団体の存在や活動内容、協働の可能性を知ることだったと考えている。加えて、業務の意味を考え、相手と真摯に向き合うことも学べたため、県職員としても一個人としても非常に有意義な研修だった。

⑧体験学習受け入れ

対 象：7名

実施内容：名古屋女子大学中学校の1・2年生が来所。事務所にて、活動紹介や予め生徒の皆さんからいただいた質問に答えたあと、ボラみみがブース出展をしていたイベント会場に移動し、パンフレットづくりや来場者との交流を体験してもらった。

担 当：事務局

名称	期間	受入元	人数
土曜講座 [NPO 団体訪問]	2018 年 11 月 10 日(土)	名古屋女子大学 中学校	7 名





評 価：「小学校でもボランティア活動をしたことがあるけど、違う種類のボランティアを知ることができてよかった」、「ボランティアをしたことがなかったのですが、今回すごく楽しかったので、またやりたいです」などの感想があった。中学生の受け入れは初めての取り組みだったが、多様な活動を身近に感じてもらうことができた。

⑨各種委員会への参加

対 象：行政・社会福祉協議会

担 当：事務局、理事

派遣日	委員会名	派遣先
2018年11月2日(金)	愛知県社会福祉協議会ボランティア・市民活動推進部会	愛知県社会福祉協議会
11月15日(木)	日本福祉教育・ボランティア学習学会 あいち・なごや第24回大会実行委員会	日本福祉大学、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会
11月21日(水)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県社会活動推進課
11月24日(土)	日本福祉教育・ボランティア学習学会 あいち・なごや第24回大会開催	日本福祉大学、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会
11月25日(日)	日本福祉教育・ボランティア学習学会 あいち・なごや第24回大会開催	日本福祉大学、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会
12月5日(木)	市町村社会福祉協議会ボランティア担当者会議	愛知県社会福祉協議会
12月15日(土)	助成金中間報告会	尾張旭市市民活動支援センター
2019年1月12日(土)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
1月15日(火)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉2020)団体視察	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会
1月17日(木)	日本福祉教育・ボランティア学習学会 あいち・なごや第24回大会実行委員会	日本福祉大学、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会
2月17日(日)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
2月21日(木)	愛知県社会福祉協議会ボランティア・市民活動推進部会	愛知県社会福祉協議会
2月21日(木)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県社会活動推進課
2月27日(水)	愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会	愛知県社会福祉協議会
3月2日(土)	ボランティア楽集会開催	名古屋市社会福祉協議会
3月14日(木)	NPOと行政の協働に関する実務者会議 報告会	愛知県社会活動推進課
3月22日(金)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉2020)策定懇談会	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会
3月23日(土)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉2020)地域活動視察	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会





3月29日(金)	市民活動推進にかかる懇談会	名古屋市市民活動推進センター
4月20日(土)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
5月30日(木)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉 2020)策定懇談会作業部会	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会
6月5日(水)	愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営協議会	愛知県社会福祉協議会
6月13日(木)	愛知県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進部会	愛知県社会福祉協議会
6月17日(月)	子どもの居場所づくり推進会議	愛知県社会福祉協議会
6月30日(日)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
7月12日(金)	市民活動推進にかかる懇談会	名古屋市市民活動推進センター
8月4日(日)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
8月21日(水)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉 2020)策定懇談会作業部会	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会
9月6日(金)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県社会活動推進課
9月11日(水)	名古屋市地域福祉計画・地域福祉推進計画(なごやか地域福祉 2020)策定懇談	名古屋市地域ケア推進課 名古屋市社会福祉協議会
9月29日(日)	ボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会

評価：委員会に参加することで、さまざまなNPOの活動や行政の動きについて、知る機会が増え、また情報交換を行える場となった。また、NPOセクターとして、社会的に有用で実効性のある意見を述べることができた。

(6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業（定款第5条第6号）

①愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターパンフレット作成事業（請負）

対象：市民活動団体、ボランティアをしたい市民

実施内容：愛知県社会福祉協議会からの委託により、県社協ボランティアセンターを紹介するパンフレットを200部作成した。

担当：事務局、デザイナー

時期：2018年7月～2018年10月、2019年9月～2019年10月

評価：愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターを分かりやすく紹介するパンフレットを作成することができ、ボランティア促進窓口の広報支援を行うことができた。





(7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第7号）

① 子ども食堂開設ガイドブック作成事業（委託事業）

対 象：市民活動団体、ボランティアをしたい市民

実施内容：愛知県からの委託により、子ども食堂の開設を希望する団体等がスムーズに開設できるように、子ども食堂開設までのノウハウをまとめたガイドブックを450部作成した。

担 当：事務局、デザイナー

時 期：2018年9月～2019年3月

評 価：子ども食堂の先行事例について取材し、これから子ども食堂を開設しようとする団体がスムーズに開設できるノウハウをまとめて掲載することで、子ども食堂の広報支援を行うことができた。

(8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第8号）

実施していない。

(9) 環境の保全に関する支援、およびボランティアの育成事業（定款第5条第9号）

① 物資寄贈事業（みみちゃんお届け便）（自主事業）【重点項目(4)】

対 象：市民活動団体

実施内容：株式会社大塚商会と愛知県図書教材協会から事務用品や学用品を提供いただき、それらの物資をインターンの協力により仕分け作業を行い150品目2,032個の物資リストを作成した。2019年6月にメールで物資寄贈の公募を行い67団体から148品目9,239個の応募があった。寄贈団体への物資の仕分けは、ボランティアスタッフの協力で行うことができた。



時 期：2018年10月～2019年9月

担 当：事務局、事務局チーム、インターン

評 価：応募団体が多く、人気のある商品は37倍もの倍率になってしまった。応募いただいたすべての団体に提供することはできなかったが、148品目、1,800個を62団体へ寄贈することができた。また、助成金事業として実施する計画であったが、助成金を取れていないため、財政を圧迫している。





(10) 保健、医療又は福祉に関する支援、およびボランティアの育成事業（定款第5条第10号）

①ボランティア募集サポート事業（自主事業）

対象：ボランティアをしたい個人

実施内容：第42回きょうされん全国大会 in あいちのボランティア担当者の運営会議への出席、助言。担当者と社会福祉協議会への協力依頼への同行。大学や企業への協力依頼。

時期：2018年10月～2019年3月、2019年4月～2020年3月

担当：事務局

評価：助成金を取って、ボランティア体験講座を実施しながら、ボランティアを集める計画をしていたが、助成金を取れていないため、財政を圧迫している。

(11) その他（組織の基盤整備等）

①キャンペーンの実施【重点項目(5)】

対象：ボランティアに関心のある市民、会員、ボランティアスタッフ

実施内容：月替わりでキャンペーンを実施した。

評価：11月「ボラみみの会員になろう！」キャンペーン：昨年と比較して増減なし。

12月「物資寄贈プログラム」寄付キャンペーン：期間中に寄付はなかった。

3月「ボランティア史」作成寄付キャンペーン：期間中に寄付はなかった。

4月「黄色いレシートに参加しよう！」キャンペーン：2店舗（イオンワンダーシティ mozo・マックスバリュ太閤店）で年間91,800円の寄付があった。

5月東海ろうきん「NPO 寄付システム」登録促進キャンペーン：期間中に1名増えた。

6月「みみラインにボランティア登録しよう！」キャンペーン：期間中に2名減少した。

7月「月刊ボラみみ」寄付キャンペーン：期間中に73,400円の寄付があった。

8月「月刊ボラみみ配布先募集」キャンペーン：期間中に2ヶ所減少した。

8月「募金箱設置店舗募集」キャンペーン：期間中に増減はなかった。

9月「みみラインにボランティア求人情報を投稿しよう！」キャンペーン：期間中に2件増加した。

②ニュースレター「みみ通信」編集・発行

対象：会員、ボランティアスタッフ、『月刊ボラみみ』配布協力先

実施内容：当団体の広報、活動紹介、会計報告をすることを目的とし発行した。

発行回数：年4回 1月、4月、7月、10月号

仕様：B5判 モノクロ 8ページ 1,000部（前年度実績1,000部）

担当：会員担当、事務局、各チーム

号数	掲載内容
1月号 (Vol.70)	・活動報告(総会報告)・理事の紹介・活動報告(「ボランティア史編纂委員会」中間報告／物資寄贈事業の報告／伝わる！チラシコンテスト vol.3／デンソーハートフルまつり／ワールド・コラボ・フェスタ 2018／寄付報告)・インターン紹介・寄付報告・スタッフコラム・スタッフインタビュー・チーム報告(9月～11月)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマ みみ劇場





4月号 (Vol.71)	・「なごやのボランティア史」編纂・2018年度の事業報告(ボランティア活動の促進協働会議／第7回名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム／会員キャンペーン)・事業報告(告知『ボラみみ』合冊発行&創立20周年記念号のお知らせ／告知「これからの20年を考える会」のお誘い)・活動報告(愛知淑徳大学コラボメッセ／オンライン Teams 塾)・インターン紹介・スタッフコラム・スタッフインタビュー・チーム報告(2018年12月～2019年2月)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマみみ劇場
7月号 (Vol.72)	・活動報告(これからの20年を考える会)・事業報告(臨時総会の報告／アドバイザーの個別相談&講座／ボランティア史編纂／子ども食堂ガイドブック／なごやボランティア楽集会／金城学院大学での活動報告)・寄付報告(幸せの黄色いレシートキャンペーン／ファーストキフ&市民とつながるポスターコンテスト)・スタッフコラム・スタッフインタビュー・チーム報告(3月～5月)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマみみ劇場
10月号 (Vol.73)	・総会案内(ボラみみより情報局通常総会および併催イベントのご案内)・活動報告(「ボランティアについてトコト話し合う会」を開きました／みみちゃんお届け便／第7回ぼらマッチ！なごや)・告知(第8回名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム)・インターン紹介・スタッフコラム・スタッフインタビュー・チーム報告(6月～8月)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマみみ劇場

評 価：年4回各1,000部発行し、当団体の活動内容等を紹介することができた。

③「ボラみみブログ」編集・運営

対 象：愛知県、岐阜県、三重県に在住・在勤の市民

実施内容：当団体の活動を多くの人に理解してもらうことを目的に、日々の活動の紹介を中心に編集し更新する。

更 新：年間97回(前年度150回)

アクセス：13,230件(前年度：年間10,917件)

担 当：事務局チーム、インターン、事務局職員

評 価：更新頻度は目標の120回に及ばなかったが、アクセス数は前年度より増加し、目標の12,000件を超えることができた。ブログを更新する度に、twitterに載せたことでアクセスが増えたと考えられる。これからもボラみみへの共感を高めることを目的に、更新回数を増やし、積極的に活動紹介を行っていく。

④ボランティアスタッフの増加

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：オリエンテーションや研修会を開催して、事業に関わるスタッフを育成する。

担 当：事務局、各チーム

評 価：77名のスタッフを100名に増やすことを目標としていたが、73名に減少してしまっただ。スタッフやチーム間の交流を深めるためのバーベキューなどの交流会を開いていきたい。ボランティアスタッフを引き続き募集していくとともに、校正や発送の作業日に合わせてランチ会を開くなど、スタッフが集まりやすい工夫を考えたい。

⑤募金箱の設置(自主事業)

対 象：配布先および商店、施設など





実施内容：募金箱設置の依頼、資金回収を実施した。

担 当：事務局チーム、配達スタッフ、事務局、理事

設置箇所：47 か所（9月30日現在）（昨年度53か所）

募 金 額：0円（前年度50,781円）

評 価：閉店のため募金箱の設置及び『ボラみみ』の配布停止の申し出があった店舗のほか、回収に伺うと店が変わっていたり、募金箱を紛失しているところもあり、募金箱の設置数が減少した。こうしたことを防ぐためにも、春と秋の年2回は回収に伺える体制を整える必要がある。2019年夏から秋にかけて回収を行うことができたが、メンバー不足で回収及び募金の集計に時間がかかり、決算までに集計入金が間に合わなかったため、来年度報告する。

⑥「gooddo(グッドウ)」

対 象：会員、ボランティアスタッフ、ボランティアに関心を持つ人

実施内容：「gooddo(グッドウ)」のボラみみページから買い物ページへ進むことで、購入額の一部がボラみみに寄付されるため、その協力を誌面などで呼びかけた。

評 価：購入額の0.5%が寄付される仕組みだが、買い物件数自体が少なく、さらに振込手数料が引かれるため、寄付額は数十円と僅かである。今後も引き続き、ボラみみページ内からの「お買い物で応援」への協力を呼びかけていく。

6. 会議に関する事項

(1) 総会

① 定期総会

開催日時：2018年11月23日（金・祝）10時00分～11時15分

開催場所：名古屋市民活動推進センター 集会室

（名古屋市中区栄3丁目18番1号 ナディアパークデザインセンタービル6階）

- 議 題：(1) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2018年度事業報告の承認
(2) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2018年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の承認
(3) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2019年度事業計画の承認
(4) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2019年度活動予算書の承認
(5) 定款変更
(6) その他

② 臨時総会

開催日時：2019年3月21日（木・祝）10時00分～10時30分

開催場所：特定非営利活動法人ボラみみより情報局 事務所

（名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6階）

- 議 題：(1) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2020年度事業計画の承認
(2) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2020年度活動予算書の承認





(2) 理事会

目的：開かれた運営を行うため、団体としての意思決定・判断の経緯と根拠を開示した。

対象：理事、会員、スタッフ

実施内容：理事会の開催

実施時期：毎月1回（11月を除く毎月）

担当：理事、事務局

開催日	報告内容・決定事項
2018年10月30日(火) (第168回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項:理事の辞任、資金繰り、総会、20周年は、どんなことをするか?、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2018年12月11日(火) (第169回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項:理事会体制、総会資料提出、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他の報告
2019年1月25日(金) (第170回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年2月26日(火) (第171回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年3月26日(火) (第172回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年4月23日(火) (第173回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年5月28日(火) (第174回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年6月25日(火) (第175回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年7月30日(火) (第176回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年8月27日(火) (第177回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、総会、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他
2019年9月27日(火) (第178回)	(1)承認事項:正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項:財政、総会、2020年度事業計画の重点項目、理事会の役割、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項:事業・事務局、各チーム、その他





(3) 「これからの20年を考える会」【重点項目(1)】





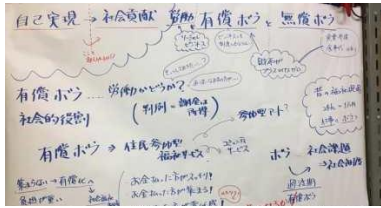
目的：中長期のビジョンと中長期計画作成を目的とする

対象：理事、会員、スタッフ、事務局

実施内容：これまでボラみみに取り組んできた活動と社会情勢をふりかえり、次の20年間の活動をどのように展開していくかを、みんなで考えた。

時期：2019年3月～2019年9月、2019年10月～2020年3月

担当：理事、事務局

開催日	開催内容
2019年3月13日(水)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年3月21日(木) 10:30～12:30 第1回これからの20年を考える会 参加者数:18名	ボラみみの立ち上げ当時の話を聞き、これまでの活動をふりかえりました。  
2019年5月14日(火)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年5月19日(日) 9:30～12:00 第2回これからの20年を考える会 参加者数:20名	ボラみみやボランティアを取り巻く「今」の現状について話し合いました。  
2019年6月28日(金) 19:00～23:00 ごろ 番外編これからの20年を考える会 参加者数:10名	ボランティアについてトコトコ話し合う場を開きました。  
2019年7月23日(火)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年7月27日(土)	台風のため中止 第3回これからの20年を考える会
2019年8月20日(火)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年9月28日(土) 10:00～12:30 第3回これからの20年を考える会 参加者数:14名	次の20年をどう活動するか？新事業のアイデアを話し合いました。 